

【第14回やまなし県民文化祭】地域フェスティバル

# 伝文

追分の人形芝居  
(大月市／笹子追分人形保存会)

黒平の能三番  
(甲府市／黒平能三番保存会)

# 祭典

一之瀬高橋の春駒  
(甲州市／一之瀬高橋春駒保存会)

下福沢の七福神  
(甲斐市／下福沢青年会)

日時…平成27年2月15日(日)  
午後1時半開場、午後2時開演  
場所…コラニー文化ホール  
小ホール

観覧無料  
観覧には申し込みが必要です。  
※詳しくは裏面をご覧ください。

問い合わせ先:やまなし県民文化祭実行委員会事務局(山梨県生涯学習文化課内)  
TEL 055-223-1797 FAX 055-223-1322



# FAXでのお申し込み 055-254-8000

※FAXの場合、この用紙を切り取らずに送信してください

アドブレン社 事業部「伝統文化の祭典」係

ふりがな

代表者氏名

代表者住所

代表者電話番号(携帯番号)

観覧希望人数

大人(中学生以上) 人 子ども(小学生以下) 人

※お送りいただいた個人情報、本事業の観覧希望人数把握のみに使用し、本事業終了後は、速やかに破棄します。

## その他のお申し込み方法

上記をご記入の上、封書でお送りいただくか、はがきに住所・氏名・電話番号・観覧希望人数をご記入の上、下記住所までお送りください。また、下記電話番号へのお電話でもお申し込みいただけます。

〒400-8535 甲府市北口2-6-10 アドブレン社 事業部「伝統文化の祭典」係  
申込み受付後、スタッフより受領のご連絡をさせていただきます。連絡無い場合は、お問合せください。

[観覧に関するお問合せ] 電話055-231-3311 アドブレン社 事業部

申し込み締め切り：2015年1月31日(土)まで(先着順)

# きっとあなたは、驚くだろう。

見てみると面白い。古より人々を楽しませてきた民俗芸能。

途絶えそうになりながらも、復活した4団体に出演していただきます。

次世代への継承の願いを込め、是非ご家族でお楽しみください。

## 黒平の能三番

(甲府市 / 黒平能三番保存会)



ヒートロと呼ばれる青年たちが、前年に新築や結婚などの祝い事があった家に練り込み、そこで能三番を舞います。能三番は翁(白木肘)、千歳(素面)、三番叟(黒木肘)の三役と、太鼓・小鼓・笛・謡によって構成されます。道祖神祭りに向けて稽古する芸能の内、能三番は「本分」という意識があり、必ず師匠が来てから稽古したそうです。また、昔は、長男にしか教えないというきまりがありました。

山梨県指定無形民俗文化財

## 追分の人形芝居

(大月市 / 笹子追分人形保存会)



寛永年間に京都から吉田冠二という人物を迎えてから本格的になったと言われています。明治20年、天野忠助が西川座を立ち上げ、各地を巡業しました。その後、明治40年の大水害で衣装が流されてしまい、中断していた時期もありました。百余りの人形の首と二百余りの衣裳が現在に伝わっていますが、大半は明治後半以降に購入したものです。首の中には淡路や徳島の人形師の名前を刻んだ作品も含まれています。

山梨県指定無形民俗文化財

## 一之瀬高橋の春駒

(甲州市 / 一之瀬高橋春駒保存会)



「駒踊り」・「馬踊り」などともいいます。二つの竹籠を演者の胴体に結び付け、布を胴回りに垂らして馬に見立てます。竹籠に和紙を張って頭部を立て、たて髪や尻尾、手綱や口輪などの工作をします。当日は集落各戸の座敷に上って、花笠を被って着飾り、太鼓や鉦・笛のリズムに合わせて、飾り棒を持った露払いのリードで踊ります。結婚や出産などの祝儀のあった家では「水祝儀」が行われます。

山梨県指定無形民俗文化財

## 下福沢の七福神

(甲斐市 / 下福沢青年会)



小正月行事として行われる道祖神祭りの1つです。下福沢道祖神祭りの場合は「どんど焼き」・「七福神のわりこみ」・「氏子まわり」が行われます。特に「七福神のわりこみ」は有名で、下福沢青年会が七福神に扮し、前年に家を新築した家、長男が結婚したか42歳の厄年を迎えた家を回り、笛・太鼓の音とともに家の中に入り、祝いのユーモアのある口上と演技を披露したり、悪魔祓いをします。

甲斐市指定無形民俗文化財(下福沢道祖神祭)